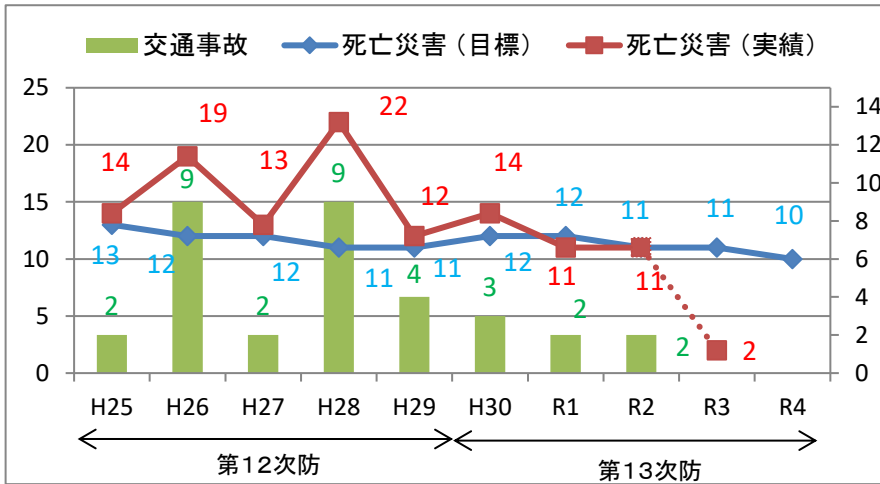


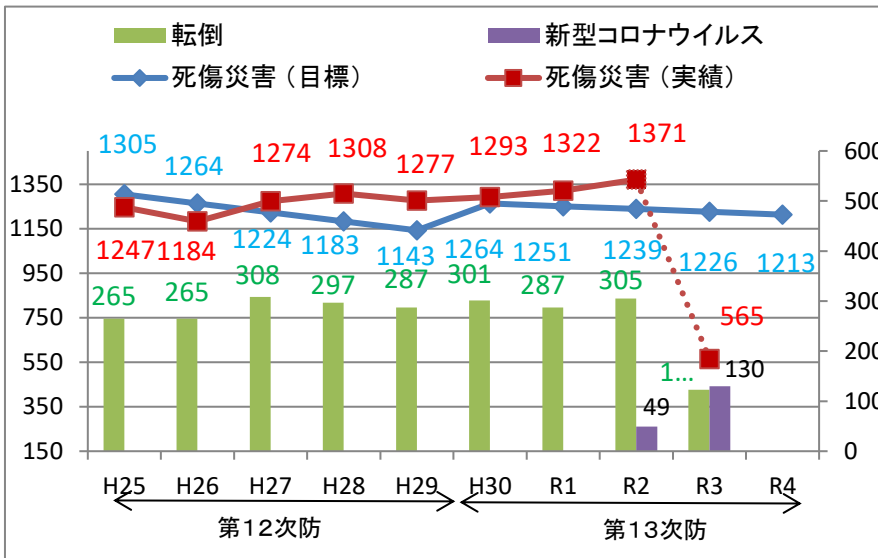
# 第13次労働災害防止計画進捗状況

## 1 死亡災害

令和3年5月現在

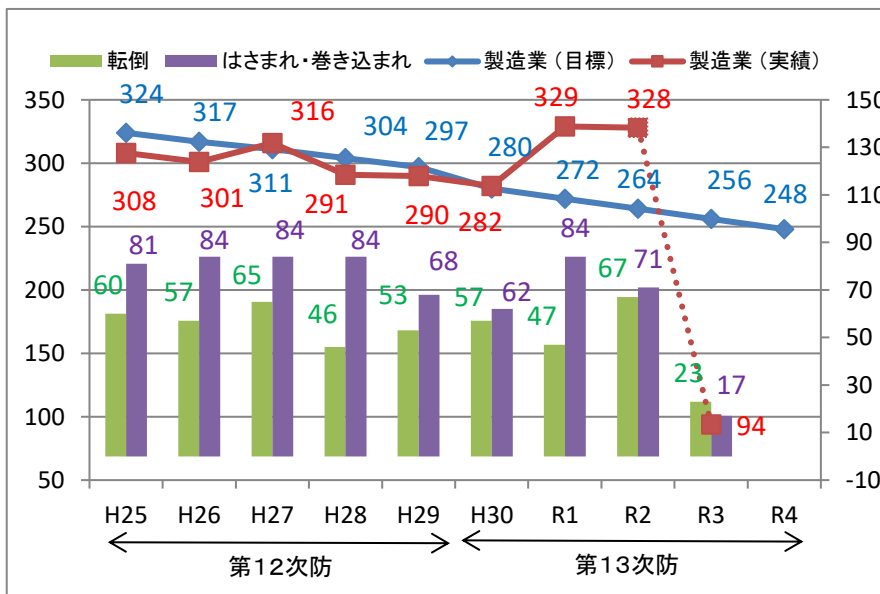


## 2 死傷災害(全産業)



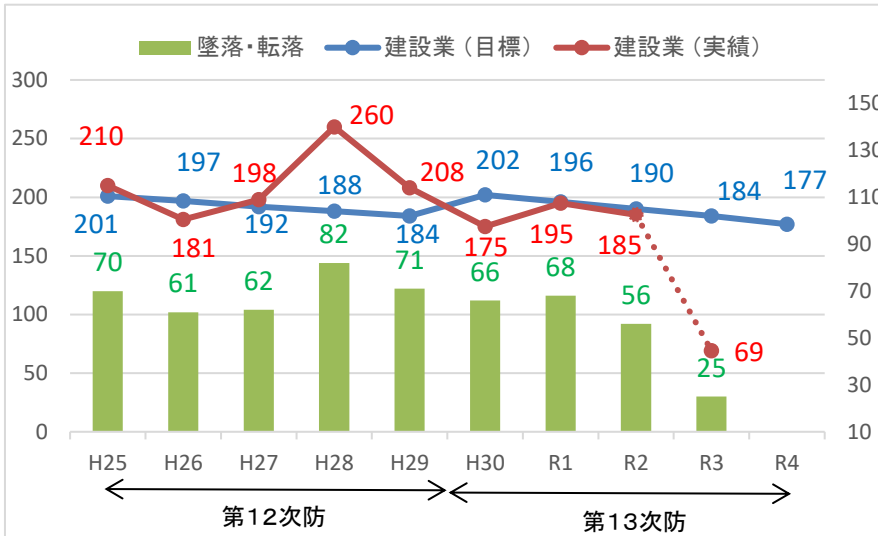
死傷災害については、平成27年に労働災害防止計画に基づく災害減少目標を上回って以来、一度も目標を下回ることがなく、平成30年以降は毎年増加している。事故の型別では、近年、「転倒」による災害が最も多く全災害の概ね1/4を占めているが、令和3年は、新型コロナウイルス感染症による災害が5月末現在130件で最も多く発生している。

## 3 製造業



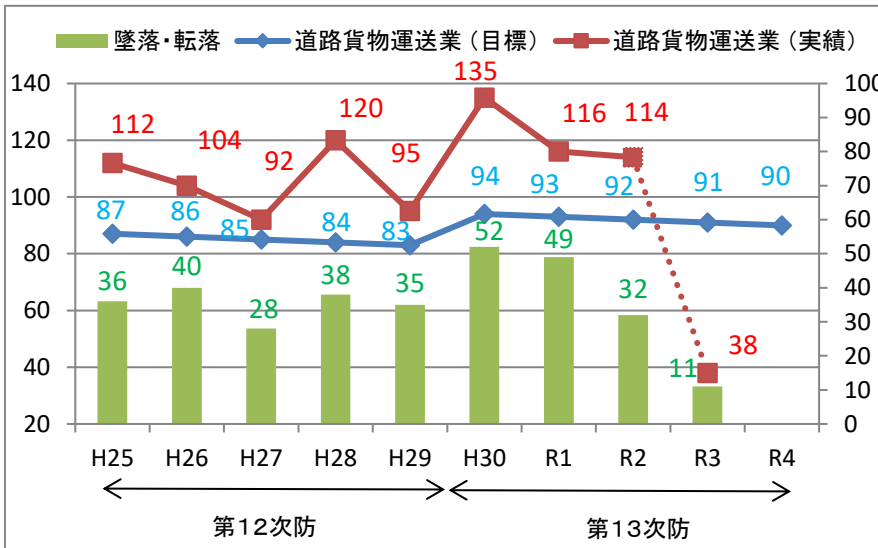
全産業の災害の1/4を占める製造業においては、近年、減少傾向にあったが、令和元年に増加し、高止まり状況である。事故の型別では「はさまれ・巻き込まれ」災害が多く発生しているが、近年は「転倒」による災害が増加している。

#### 4 建設業



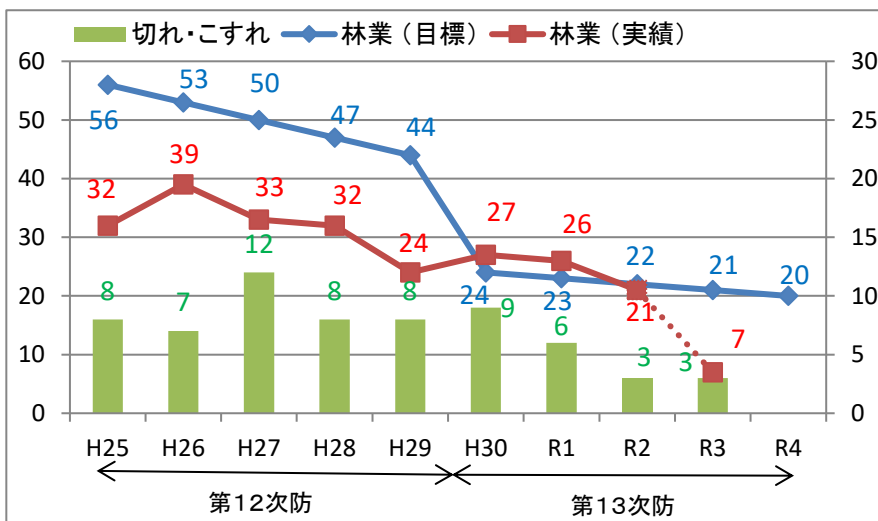
建設業においては、平成28年、大幅に災害が増加したが、その翌年からは減少に転じ、平成30年以降は第13次労働災害防止計画の減少目標を下回る結果で推移している。  
事故の型別では「墜落・転落」による災害が3割を占めている。

#### 5 陸上貨物運送業(道路貨物運送業)



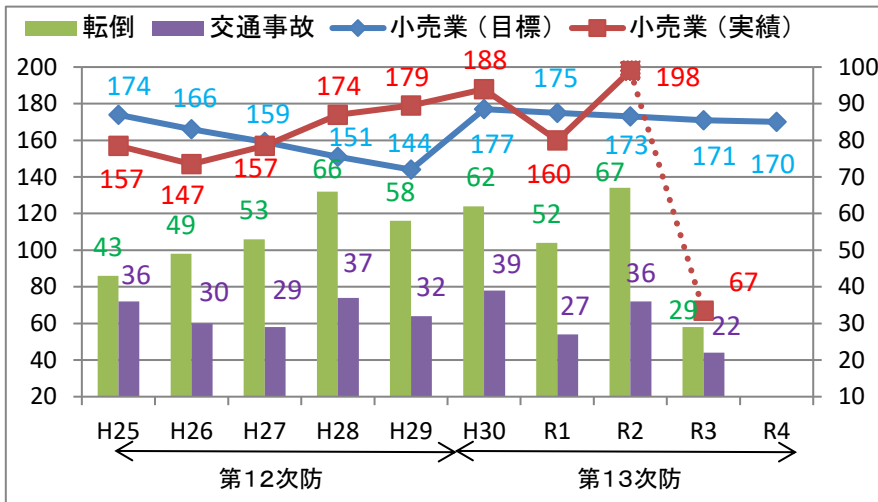
道路貨物運送業の災害は増減を繰り返しながら近年高止まりの傾向にあり、災害減少目標を一度も下回ったことがない。  
事故の型別では「墜落・転落」の災害が最も多く令和元年は道路貨物運送業で発生した災害の4割を超えていたが、昨年は3割弱まで減少した。

#### 6 林業



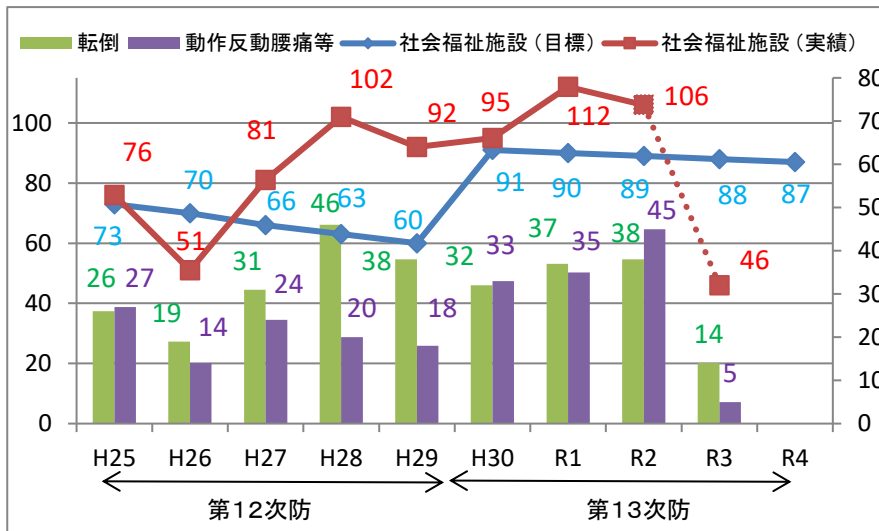
災害件数は増減しながらも減少傾向にある。  
事故の型別では「切れ・こすれ」の災害が多く発生している。

## 7 小売業



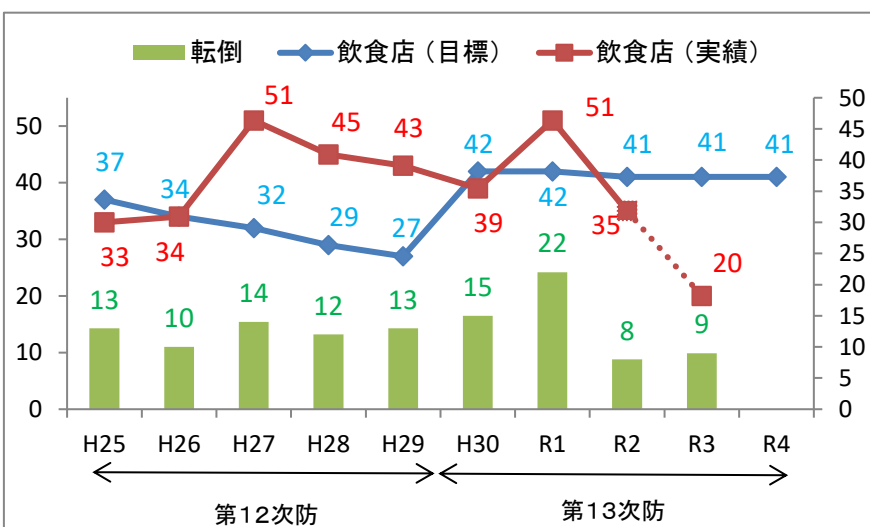
全産業の災害の約14%を占める小売業においては、平成26年以降増加傾向であったが、令和元年に減少したものの、昨年は大幅な増加となった。事故の型別では「転倒」による災害が多く、小売業災害の3割を超えている。

## 8 社会福祉施設



全産業の災害の約8%を占める社会福祉施設においては、平成26年以降災害が大幅に増加し、平成29年にはいったん減少したものの、その後は2年続けて増加しているなど、増加傾向にある。事故の型別では、「転倒」と「動作の反動・無理な動作」による災害が近年いずれも増加している。

## 9 飲食店



飲食店については令和元年に大幅に増加したが、昨年は減少した。事故の型別では「転倒」による災害が増加していたが、昨年は大幅な減少となった。

